

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第34回>

いよいよ師走ですね。みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
コーチング研修会社ドリームフィールド、ユッキーこと阿部侑生です。

実は先日、娘が体育の授業で股関節の肉離れという怪我をしました。  
ここ1ヶ月間、松葉杖での生活なのです。娘の通う学校は山の上にあることもあり、  
毎日、中学校や接骨院への送迎をしています。  
それにしても中学生の荷物って、なんでこんなに重いんだろう～！！  
4階にある教室まで娘の重いリュックをヒーヒーいいながら運んでいます。

さて、朝7時40分頃に娘の教室(1年5組)に入ると、  
いつも決まって朝早く登校している男子たちが迎えてくれます。  
とても世話焼きな男子は「今日はお弁当の日だよ、持ってきた？」とか  
「昨日、休んだところの社会のノート、見せようか？」とか、優しい声をかけてくれます。  
ほかの男子も「松葉杖、大変そうだね」と気遣ってくれて、  
なんて優しいボーイズなんだ！！！！(≧▽≦)と、  
思わず私のほうがあったかい気持ちになってきます。

実は、先月参加した中学校の学級懇談会でこんな話がありました。  
「うちの子ね、1年5組はすごくいいクラスだって言ってます」  
と、あるお母さんがとおっしゃったのですが、すると別のお母さんも  
「うちの子も、1年5組はエリートだって言ってますよ」と。  
どのお母さんも、「うちでもそうです、エリートって言ってます(笑)」とっていました。  
私も以前から、娘から1年5組はみんな真面目で、  
1年生の中でも特に凄いと先生方の間で評判になっていることを聞かされていたので、  
「他の生徒も家で自慢しているんだ」ということが分かって少しびっくりしました。

すると担任の先生が「そうなんですよ。うちのクラスはみんな期限内に提出物を出すし、  
みんな真面目に勉強に取り組むし、今年はすごく楽をさせてもらっています」と  
笑顔でおっしゃったのです。いやはや、言葉の力は本当にすごいですね～～～！！  
これはどういう現象かという「人は与えられたレッテルに応える」という法則です。

先生がなにげなく発している「君たちは優秀だね、エリートだね」といった言葉のおかげで、生徒は自分たちに「1年5組はエリートだ！」というレッテルを知らず知らずのうちに貼っていたのです。そして、与えられたレッテルに応えてしまうのです。

ですから「あなたは行儀が悪い子ね」と言うと、レッテルに応えて、その通りになっていくわけです。「もっと頑張らないとダメな子」と言って育てれば、その子の劣等感が強化され、自信のない子になってしまいます。言葉には強い暗示力があるので、マイナスの暗示はあまり入れないほうがいいと思います。( ; ▽ ; ) / 少くらのストレスは成長を促すと思いますが、さじ加減が大事です。知らず知らずのうちに使っているコトバが相手の成長に大きな影響を与えていることを肝に命じなければ恐ろしいことになるということを身を持って体験しました。

実は私は研修先でも「レッテル」の法則を使っています。

例えば、学校で生徒さん向けの講演の一番最初に、

「この学校の生徒さんの挨拶は日本一ですね！いや～～、感動しました！！」という、生徒たちの目が一気に輝き、聴く姿勢が格段に良くなります。

人は、ついつい貼られたレッテルに応えてしまうのです。

ですから、相手を勇気づけ、励ます言葉や相手の心の支えになるような言葉を発していきたいものです。

(みえみえのお世辞は逆効果になりますのでくれぐれもご用心です)

娘の怪我のおかげでまた一つ、学ばせていただきました。

娘が怪我をしても学校に行きたくなる気持ちがよ～～わかりました(≧▽≦) / ありがたいことです。

#### \*プロフィール\*

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH! バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等を

テーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。